

苫前町における
平成28年度全国学力・学習状況調査の結果

平成29年1月

苫前町教育委員会

平成28年9月、北海道教育委員会から、北海道の公立学校における調査結果の概要として、「平成28年度全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント」が公表された。

苫前町教育委員会では、この調査結果を受けて苫前町の学力・学習状況を把握し、各学校における指導の工夫改善に生かすために、調査結果の概要をまとめたものである。

◆ 平成28年度全国学力・学習状況調査の概要

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

ア 小学校調査

- ・小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 中学校調査

- ・中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・主として「知識」に関する問題 [国語 A、算数・数学 A]
- ・主として「活用」に関する問題 [国語 B、算数・数学 B]

2) 質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

4 調査の方式

悉皆調査

5 調査期日

平成28年4月19日（火）

6 調査実施した学校・児童生徒数

【調査】 北海道（公立）

区分	対象学校	学校数（実施率）	児童生徒数
小学校	1,048	1,046（99.8%）	40,277
中学校	608	607（99.8%）	41,236
合計	1,656	1,653（99.8%）	81,513

7 児童生徒調査の質問内容（質問紙調査）

学習に対する関心・意欲・態度、総合的な学習の時間、学習時間等、学校生活等、家庭でのコミュニケーション、社会に対する興味・関心、自尊意識、規範意識等

■ 苫前町の全国学力調査結果の概要

1 児童生徒の学力状況の概要

【 小学校 】

区 分	国語 A 知識 正答率 (%)	国語 B 活用 正答率 (%)	算数 A 知識 正答率 (%)	算数 B 活用 正答率 (%)
全 国	72.9	57.8	77.6	47.2
北海道	71.0	56.0	75.3	44.5
苫前町	78.6	63.2	80.1	45.5

(1) 国語 A 主として「知識」に関する問題

*全道平均より、7.6ポイント上回っている。

○特に平均正答率が高いものは、設問 1-2「漢字を読む」(97.1%)、設問 1-2-1「漢字を書く」(97.1%)などの問題である。

●課題が見られるものは、設問 8-2「ローマ字を書く」(44.1%)で、当該学年での学習にとどまらず、繰り返し読んだり書いたりする機会を増やす必要がある。

□今後は、

①日常生活において、ローマ字が使われている場面と結びつけながら、児童がローマ字を読んだり書いたりする必要性を感じることができるよう指導する必要がある。

・学校名、氏名、住所等をローマ字で書くような場を、意図的・計画的に設ける。

・日常生活の中でローマ字がどのように使用されているかを調べ、ローマ字で表記された語句を集める。

などの指導が考えられる。

(2) 国語 B 主として「活用」に関する問題

*全道平均より、7.2ポイント上回っている。

○特に平均正答率が高いものは、設問 3-1「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む」(85.3%)、設問 3-2「目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する」(82.4%)などの問題である。

●課題が見られるものは、設問 2-1「グラフを基に、分かったことを的確に書く」(35.3%)で、情報を的確に正しく読み取り、必要な情報について適切な言葉を用いて記述することが重要である。設問 1-3「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する」(50.0%)で、調査等の目的に応じて必要な事柄について調べ、質問したいことを整理しておくことが重要である。

□今後は、

①自分の考えを伝えるための根拠として、文章の中で図表やグラフなどを用いている場合は、文章と関係付けながら、図表やグラフなどを読むことができるよう指導する必要がある。

②調査の目的に応じて質問したいことを整理する方法などについて、国語科で学習したことを各教科等の学習でも活用できるよう、年間指導計画を見通して意図的・計画的に指導す

ることが必要である。

(3) 算数A主として「知識」に関する問題

*全道平均より、4.8ポイント上回っている。

○特に平均正答率が高いものは、設問3(1)「不等号を理解している」(100%)、設問2(1)「繰り下がりのある減法の計算をすることができる」(91.2%)などの問題である。

●課題が見られるものは、設問9(2)「1を超える割合を百分率で表す場合において、基準量と比較量の関係を理解している」(50.0%)で、割合を活用して問題を解決するためには、基準量と比較量、割合の関係を正しく捉える必要がある。

□今後は、

①数量の関係を適切に捉えるために、問題場面を数直線や図に表わすことが有効なことを実感できる場を意識的に設けることが必要である。

(4) 算数B主として「活用」に関する問題

*全道平均より、1.0ポイント上回っている。

○特に平均正答率が高いものは、設問1(1)「示された条件をほかの正方形について検討し、同じ決まりが成り立つか調べることができる」(88.2%)である。

●課題が見られるものは、設問5(1)「示された除法の式を並べてできた形と関連づけ、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述できる」(14.7%)で、言葉や数、式などを用いて、筋道立てて説明したり論理的に考えたりして、自ら納得したり他者にわかりやすく説明したりできることが大切である。設問4(3)「グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述できる」(20.6%)で、事象に対して判断したことを説明する際には、判断した根拠を明らかにし、相手を意識して説明することが大切である。設問2(3)「示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる」(23.5%)で、日常生活に用いられている様々な式について、日常生活の事象と関連づけて式の意味や数値の意味を解釈することが大切である。

□今後は、

①図形と式を関連づけて明らかになった式の意味について、児童同士で再度確認したり、ノートに記述して整理したりする活動を授業の中で適宜取り入れることが重要である。

②根拠となる事柄が不足している説明を取り上げ、説明として何が不足しているのかについて話し合い、その後に書く活動につなげていくことが重要である。

③本設問のように、「40m走のタイム+0.4(秒)×4=目標タイム」という言葉の式を提示し、事象と式を関連づけながら、式や数値の意味を解釈する場を設けることが重要である。

【 中学校 】

区 分	国語A知識 正答率 (%)	国語B活用 正答率 (%)	数学A知識 正答率 (%)	数学B活用 正答率 (%)
全 国	75.6	66.5	62.2	44.1
北海道	75.1	65.0	61.8	43.3
苫前町	80.5	69.1	72.5	52.8

(1) 国語A 主として「知識」に関する問題

*全道平均より、5.4ポイント上回っている。

○特に正答率が高いものは、設問3二「「私」にとってのライスカレーを説明したものとして適切なものを選択する」(100%)、設問5一「電話を受けた相手のことを考えた言葉を書く」(100%)、設問9三エ「適切な敬語を選択する(私がプリントを集めて、先生にお届けします)」(100%)、設問9七2「「忘れがたき」の意味として適切なものを選択する」(100%)である。

●課題が見られるものは、設問9一2「漢字を書く(今までにないドクソウ的な考えだ)」(11.1%)、設問9六「題名の下書きをどのように書き直したのかを説明したものとして適切なものを選択する」(48.1%)である。

□今後は、

- ①漢字の指導は、正確に読み書きできることに加え、漢字の特徴を理解して適切に使えるようにすることが大切である。そのためには、既習の漢字を積極的に使用するとともに、同音の漢字や形が似た漢字など、間違えやすい漢字に注意するように指導することが効果的である。
- ②書写の学習では、書いたものについて生徒が互いに評価し合う場面を設けることが考えられる。その際、字形や文字の大きさ、配列などの観点を具体的に示した上で、実際に書き直したものを見比べるように指導することが大切である。

(2) 国語B主として「活用」に関する問題

*全道平均より、4.1ポイント上回っている。

○正答率が高いものは、設問1二「関連イベントの「～職人の技を見よう～」に参加することができる日付として適切なものを選択する」(88.9%)、設問1一「ちらしの表と裏から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして適切なものを選択する」(81.5%)、である。

●課題が見られるものは、設問2三「宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと、それを調べるために必要な本の探し方を書く」(44.4%)、である。

□今後は、

- ①文章を読んでもものの見方や考え方を広げるためには、書かれている内容を正しく理解するとともに、新たな疑問や課題の有無について吟味することが大切である。また、課題を解決するためには、目的に応じて適切な情報を収集する必要がある。

(3) 数学A主として「知識」に関する問題

*全道平均より、10.7ポイント上回っている。

○特に正答率が高いものは、設問 1 (4)「今日の水位が 1 週間前の水位からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ」(100%)、設問 6 (1)「平行線や角の性質を用いて $\angle APB$ の大きさを求める」(100%)、設問 1 (3)「 $-3 + (-7)$ を計算する」(92.6%)、設問 2 (3)「ある数 a について、不等式 $a > 5$ と表せる事柄を選ぶ」(92.6%)、設問 3 (4)「方程式 $2x + y = x - y = 3$ から、 x と y の値を求めるための連立方程式を完成させる」(92.6%)、設問 1 3 (2)「1 から 1 3 までの数字が書かれた 1 3 枚のカードから 5 または 1 1 のカードをひく確率を求める」(92.6%)である。

●課題が見られるものは、設問 9 (4)「反比例のグラフから式を求める」(33.3%)、設問 9 (3)「反比例を表した事象を選ぶ」(40.7%)。設問 2 (1)「ある数を 3 でわると、商が a で余りが 2 になるとき、ある数を a を用いた式で表す」(44.4%)、設問 3 (2)「一元一次方程式 $2x = x + 3$ の解について、正しい記述を選ぶ」(44.4%)などである。

□今後は、

- ①反比例のグラフから X と Y の関係を式で表すことができるようにするために、グラフの特徴と式を関連付けて考察する場面を設定することが考えられる。
- ②具体的な事象における 2 つの数量の関係を式に表し、反比例の関係を見いだすことができるようにするために、具体的な事象の中から 2 つの数量を取り出し、それらの変化や対応の様子を調べる活動を取り入れることが考えられる。
- ③事柄や数量の関係を捉え、その関係を文字式で表すことができるようにするために、関係を図に表したり、具体的な数や言葉を使った式を利用したりして関係を捉え、文字式に表す活動を取り入れることが考えられる。
- ④方程式の解の意味を理解できるようにするために、様々な数を方程式の文字に代入して解を見つける活動を取り入れることが考えられる。

(4) 数学B主として「活用」に関する問題

* 全道平均より、9.5 ポイント上回っている。

○正答率の高いものは、設問 1 (1)「1 試合の時間を 1 6 分とするとき、1 回の休憩の時間を求める」(92.6%)、設問 6 (1)「最初に決めた数が 5 のとき、手順通りに求めた数を 書く」(88.9%)などである。

●課題が見られるものは、設問 6 (2)「文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する」(14.8%)、設問 2 (2) $x = 4$ のとき $y = 9$ になるように、 x と y の間の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する」(22.2%)、設問 4 (1) 2 つの辺の長さが等しい事を、三角形の合同を利用して証明する」(29.6%)などである。

□今後は、

- ①文字を用いて処理した式を読み取り、問題解決の方法を説明することができるようにするために、処理の手順を数学的に考察する場面を設定することが考えられる。
- ②条件を付加する必要があるとき、付加する条件を判断し、それが適している理由を説明できるようにするために、条件が不足した問題について考察する場面を設定することが考えられる。
- ③証明できるようにするために、結論を導くために何がわかればよいのかを明らかにしたり、

与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見だし、事柄が成り立つ理由を筋道立てて考えたりする活動を取り入れることが考えられる。

2 児童生徒の学習状況の概要

[学習状況調査結果の傾向]

質問紙調査は、子どもたちの生活習慣や学習環境などについての質問で構成されており、学習意欲、学習環境、生活の諸側面等に関する調査内容となっている。

本調査において、「している」「どちらといえばしている」と肯定的に回答した児童生徒が80%を超えたものを高い傾向、60%未満を低い傾向として分類した。

◆ 苫前町の児童生徒が高い傾向（80%以上）を示した質問事項

○小学校・中学校共通

- *朝食を毎日食べている。
- *毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- *ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。
- *友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- *家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している。
- *学校で、友達に会うのは楽しい。
- *学校で、好きな授業がある。
- *学校で好きな授業がある。
- *学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めている。
- *今住んでいる地域の行事に参加している。
- *テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。
- *学校のきまりを守っている。
- *友達との約束を守っている。
- *いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- *人の役に立つ人間になりたいと思う。
- *前の学年までの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。
- *前の学年までの授業では、授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていた。
- *前の学年までの授業では、授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた。
- *国語の勉強は大切だと思う。
- *国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- *算数・数学の勉強は大切だと思う。
- *算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。
- *調査時間の解答は十分だった。（国語 A）
- *調査時間の解答は十分だった。（算数 A・数学 A）

○小学校のみ

- *毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- *難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- *将来の夢や希望をもっている。
- *家の手伝いをしている。
- *家で学校の宿題をしている。
- *家で学校の授業の復習をしている。
- *学校へ行くのは楽しい。
- *学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。
- *先生は、自分のよいところを認めてくれている。
- *先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。
- *人が困っているときは、進んで助けている。
- *「総合的な学習の時間」の勉強は好きだ。
- *「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役立つと思う。
- *前の学年までの授業では、先生から示される課題や学級やグループの中で自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた。
- *前の学年までの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた。
- *前の学年までの授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた。
- *前の学年までの授業では、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた。
- *前の学年までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた。
- *学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- *国語の全ての書く問題では、最後まで解答を書こうと努力した。
- *算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える。
- *算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- *算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。
- *算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。

○中学校のみ

- *地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。
- *前の学年までの道徳の時間では、自分の考えを学級やグループで深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいた。
- *国語の授業の内容はよく分かる。
- *数学の授業の内容はよく分かる。

*数学ができるようになりたい。

◆ 苫前町の児童生徒が低い傾向（60%未満）を示した質問事項

○小学校・中学校共通

- *友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。
- *家で学校の授業の予習をしている。
- *新聞を読んでいる。
- *400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思わない。
- *学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思わない。
- *調査時間の解答は十分だった。（算数 B・数学 B）

○小学校のみ

- *国語の勉強は好きだ。
- *読書は好きだ。
- *国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。
- *調査時間の解答は十分だった。（国語 B）

○中学校のみ

- *学校に行くのは楽しいと思う。
- *学級会などの話し合いで、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。
- *前の学年までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。
- *国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている。
- *数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。

◆ 苫前町の児童生徒が全道より5ポイント以上高い傾向を示した質問事項

○小学校・中学校共通

- *家で学校の授業の復習をしている。
- *地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。
- *「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役立つと思う。
- *「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- *前の学年までの授業では、先生から示される課題や学級やグループの中で自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた。
- *前の学年までの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。
- *前の学年までの授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。

- *前の学年までの授業では、授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていた。
- *前の学年までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた。
- *学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- *国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。
- *算数・数学の勉強は大切だと思う。
- *算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。
- *算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。

○小学校のみ

- *毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- *難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- *家の手伝いをしている。
- *家で、自分で計画を立てて勉強している。
- *家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している。
- *学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級の決まりなどを決めている。
- *学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。
- *学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。
- *先生は、自分のよいところを認めてくれている。
- *先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。
- *新聞を読んでいる。
- *学校のきまりを守っている。
- *人が困っているときは、進んで助けている。
- *前の学年までの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた。
- *前の学年までの授業では、学級の友達との間で話し合う活動において、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかり伝えていた。
- *前の学年までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた。
- *前の学年までの授業では、授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた。
- *国語の全ての書く問題では、最後まで解答を書こうと努力した。
- *算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える。
- *算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。

○中学校のみ

- *自分には、よいところがあると思う。
- *将来の夢や目標を持っている。
- *400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思わない。

- * 国語の勉強は好きだ。
- * 国語の授業の内容はよく分かる。
- * 数学の勉強は好きだ。
- * 数学の授業の内容はよく分かる。
- * 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。

◆ 苫前町の児童生徒が全道より 20 ポイント以上高い傾向を示した質問事項

○ 小学校・中学校共通

- * 今住んでいる地域の行事に参加している。

○ 小学校のみ

- * 前の学年までの授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた。

○ 中学校のみ

- * 学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級の決まりなどを決めている。
- * 新聞を読んでいる。
- * 前の学年までの授業では、授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた。
- * 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題があったが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力した。

◆ 苫前町の児童生徒が全道より 20 ポイント以上低い傾向を示した質問事項

○ 小学校・中学校共通

- * 調査時間の解答は十分だった。（算数 B・数学 B）

○ 小学校のみ

- * 家で学校の授業の予習をしている。
- * 400 字詰め原稿用紙 2～3 枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思わない。
- * 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思わない。

○ 中学校のみ

- * 学校に行くのは楽しいと思う。

〔 児童生徒質問紙から読み取れる傾向 〕

質問内容		児 童		生 徒	
		本町	全道	本町	全道
月～金曜日、1日あたり 「テレビやビデオ・DVD」を 観たり聴いたりする時間	2時間以上	50%	60%	29%	38%
	4時間以上	18%	19%	0%	12%
月～金曜日、1日あたり 「テレビゲーム」をする時間	1時間以上	53%	63%	47%	49%
	4時間以上	18%	19%	7%	13%
月～金曜日、1日あたり 「インターネット」をする 時間	1時間以上	24%	23%	32%	41%
	4時間以上	3%	4%	4%	11%
月～金曜日、1日あたり 学校以外での学習時間（1時間以上）		79%	55%	61%	62%
休日1日あたりの学習時間（1時間以上）		79%	56%	57%	66%
学習塾（家庭教師含む）で勉強している		9%	37%	14%	50%
月～金曜日、1日あたり 読書をする時間	30分以上	27%	35%	21%	24%
	2時間以上	0%	7%	11%	6%
昼休みや放課後、休日に、本を読んだり、借 りたりするために、学校図書館や地域の図書 館へ月1回以上行く		53%	37%	39%	17%
授業中の疑問は、誰かに尋ねたり、調べたり する。		82%	82%	89%	89%

〔 質問紙調査の結果 〕

<学習に対する関心・意欲・態度>

- 「国語の勉強が好きですか」の質問では、「好き」・「どちらかといえば好き」の割合は、全道と比べ小学生では低かったが、中学生では高かった。
- 「算数・数学の勉強が好きですか」の質問では、「好き」・「どちらかといえば好き」の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では高かった。

<学習時間等>

- 家で自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共に高かった。
- 学校の宿題をしている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では低かった。
- 家で学校の授業の復習をしている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共に高かった。
- 家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共に高かった。

<基本的な生活習慣>

- 朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共にほぼ同じであった。
- 毎日同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生では高かったが、中学生では低い結果であった。
- 毎日同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では低い結果であった。

<家庭でのコミュニケーション>

- 家の人と学校での出来事について話をする児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では低い結果であった。

<地域との関わり>

- 住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共に非常に高かった。

<社会に対する興味・関心>

- 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共に高かった。
- 新聞を読んでいる児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共に高かったが、中学生は非常に高かった。
- テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共にほぼ同じであった。